

特別支援学校（視覚障害）と小学校との「交流及び共同学習」

<実践の概要>

| 学 年 | 特別支援学校 | 小学校 |
|---|--------------|--------|
| | 小学部5年（重複） | 特別支援学級 |
| 交流学習の時間 | 9:15 ~ 10:00 | |
| 教科・領域等 | 体育 | |
| 単元／題材名「みんなで身体を動かそう」 | | |
| 主 な 活 動 内 容 | | |
| <p>①ラジオ体操 【内容】小学校の教員と代表児童が前に出て、みんなでラジオ体操を行った。</p> <p>②ペアで遊ぼう 【内容】小学校の児童とペアになり、教員の指示に従って2種類の手遊び歌を行った。</p> <p style="margin-left: 2em;">(1) きゅうりのしおもみ きゅうり役の児童がうつ伏せに寝転び、もう1人の児童が、相手の児童の背中から足先にかけて①しおふり②いたずり③水洗い④包丁で切るという動作を交代で2回ずつ行った。</p> <p style="margin-left: 2em;">(2) いっぱんばしこちょこちょ (1)と同じ相手にいっぱいんばしこちょこちょをしてもらい、その後、交代しながら3回ずつ行った。「いっぱいんばし」「ごほんばし」「じゅっぱんばし」など、一風変わった内容で楽しみながら参加していた。</p> <p>③視覚支援学校の体育をしてみよう（ロープ走リレー） 【内容】本校からアイシェードを4つ持参し、小学校で準備していただいた長縄にリレーのバトンを通したものをを使って、ロープ走リレーを行った。アイシェードを活用したことで、小学校の児童たちに盲児の走る感覚を体験してもらうことができた。</p> <p>④みんなで楽しもう（ボール送りゲーム） 【内容】本校から鈴入りボールを2つ持参し、みんなで輪になってボール送りゲームを行った。最初は1つのボールから始め、途中から2つに増やしたり、逆回りにしたりと、全員で楽しみながら行うことができた。</p> | | |

<実践の成果と課題>

<成果>

- ・ロープ走リレーや鈴入りボールの活用など、視覚支援学校で行っている視覚障害児特有の授業内容を行うことで、小学校の児童たちにとって、視覚障害者に対する理解が深まる授業になったのではないかと思う。

<課題>

- ・限られた時間の中でたくさんの内容を行ったので、ひとつひとつの活動時間が短くなってしまい、集中できない児童がいたのではないかと感じた。

<これまでの効果的な取組や実践エピソード等>

- ・きゅうりのしおもみをしたのがとても楽しかった。（本人の声）
- ・居住地校学習の経験を積むことで、「慣れていない場所や人」から「知っている場所や人」に変わっていている様子が見て取れ、児童本人にとっても度胸がついたことをうれしく思う。（母の声）
- ・小学校の児童たちは、初めて見るアイシェードや鈴入りボールに興味津々で、積極的に活動に参加していた。（担任の声）